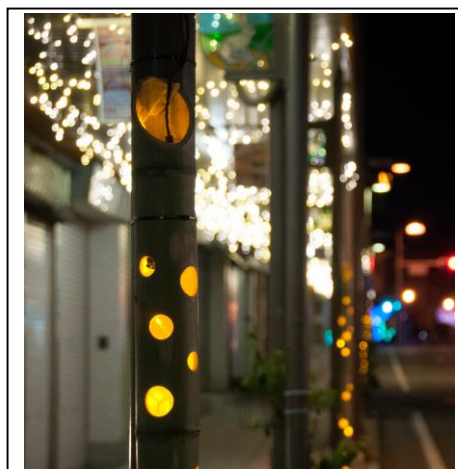


平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	こまち(駒街)バル
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根商工会議所青年部 (事務局 駒ヶ根商工会議所 担当 三好翔)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	8,548,145円(うち支援金:2,510,000円)

事業内容

- 市内飲食店での「食べ歩き・飲み歩き」及び専門的サービスを受けられる一般店舗の参加
- 特設会場での「屋台村」開催
- イルミネーションによる市街地活性化
イベント専用チケットによる食べ歩き及び専門的サービスを受けられる店舗での「普段と違った1日」を過ごすイベント。今年度一般店舗にまで拡大したことにより、普段ではなかなか利用することが無い店舗に気軽に足を運ぶことができるようになった。



【目標・ねらい】

- ①新規店舗開拓(参加者)
- ②新規顧客獲得(参加店舗)
- ③商店街の回遊性向上
- ④市内経済の循環

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

平成24年度より継続実施している事業であるが、チケット販売数が過去2年を上回る実績で、イベントが浸透してきていると感じている。参加者の90%は市内在住であり、市内での経済循環が順調に行われていると実感できた。

また一般店舗に今年度参画頂いたことでより双方の目的が達成できたと感じている。

イルミネーションは昨年より設置場所を拡大し、テーマを持たせたことで多くの市民の方が街中を回遊する風景が見られた。

※自己評価【A】

【理由】

イベント効果により市街地へ足を運ぶ市民が予想以上に多かった。駒ヶ根市を代表する一つのイベントになったと感じる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度で元気づくり支援金3年目であり補助金事業ではなくなるが、行政・関係団体・商店街・市民より継続を希望する声が多くあがっている。この3年で土台をしっかりと気づくことができたため特定財源確保に向け活動するとともに、地域活性できるよう継続、また新たな取り組みを行っていきたいと考えている。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある